

学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準

学修の成果に係る評価

- 学部
1. 授業科目の単位の授与は、その授業科目の担当教員が当該担当教員の定める方法による試験に、出席状況その他を加味して行う。
 2. 試験の成績は優、良、可及び不可をもって表示し、優、良及び可を合格とする。
- 研究科
1. 履修科目の単位修得の認定は、試験（または研究報告等）により担当教員が行う。
 2. 各授業科目及び学位論文の成績は、次のとおりとする。
 - (1) 各授業科目は、優、良、可、不可とし、優、良、可を合格とする。
 - (2) 学位論文は、合格、不合格とする。
 - (3) 最終試験は、合格、不合格とする。

【成績評価基準】

点数区分	評価の表示方法	合否
100～80点	優	合格
79～70点	良	
69～60点	可	
59～0点	不可	不合格

GPAについて

本学では、学生の学習意欲の向上及び学習指導に役立てる事を目的に、学習状況及び成果を示す指標として「GPA」を導入している。

「GPA」とは、下記成績基準（優、良、可、可一、不可）に基づいて評価した成績の単位数に、それぞれのGP（Grad Point）を掛けて合計したものを、履修登録を行った単位数の合計で割って計算した、1単位あたりのGP平均値（Average）である。

【成績評価基準】

成績評価		Grade Point
優	100点～80点	4
良	79点～70点	3
可	69点～60点	2
可一※	再試験において合格（一律60点）	1
不可	60点未満	0
認定	既修得単位認定	対象外

※成績証明書には「可」で表記されます。

進級の認定に当たっての基準

試験等により、原則として当該年次において修得すべき全単位を修得した場合は、上級学年へ進級する。

ただし、当該年次の必修科目における修得単位に不足がある場合でも、上級学年の履修に支障がないと教授会の議を経て学長が認めた者については、進級を認める。

卒業の認定に当たっての基準

本学に所定の期間在学し、所定の単位を修得した学生には、卒業証書を授与する。

学部・研究科		必要修得単位数		修得単位数		修業年限	取得可能な学位及び専攻名称
				必修科目	選択科目		
鍼灸学部	鍼灸学科	H30年度以降入学者	130単位	111単位	19単位以上	4年	学士 (鍼灸学)
		H25年度以降入学者	124単位	107単位	17単位以上		
保健医療学部	柔道整復学科	H30年度以降入学者	128単位	109単位	19単位以上	4年	学士 (柔道整復学)
		H25年度以降入学者	124単位	93単位	31単位以上		
	救急救命学科	H29年度以降入学者	125単位	104単位	21単位以上	4年	学士 (救急救命学)
		R03年度以降入学者	125単位	106単位	19単位以上		
看護学部	看護学科	H29年度以降入学者	127単位	105単位	22単位以上	4年	学士 (看護学)
		H28年度以前入学者	128単位	108単位	20単位以上		
鍼灸学 研究科	修士課程	鍼灸学専攻	30単位	24単位	6単位以上	2年	修士 (鍼灸学)
		鍼灸学専攻 (通信教育課程)	30単位	24単位	6単位以上		
		臨床鍼灸学専攻	35単位	27単位	8単位以上		修士 (臨床鍼灸学)
	博士後期課程	鍼灸学専攻	12単位	12単位	—	3年	博士 (鍼灸学)
保健医療学 研究科	修士課程	柔道整復学専攻	32単位	24単位	8単位	2年	修士 (柔道整復学)